

第7回 【体育】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展

# オリンピックと パラリンピックの意義

ゲスト：元スピードスケート選手 高木菜那さん

## 今回の学習内容

2021年に夏季東京オリンピック・パラリンピック競技大会が、2022年に冬季北京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。このオリンピックとパラリンピック競技大会がどうして行われるようになったか、また、それぞれの大会が目指していることは何かなどについて、冬季オリンピックに3大会連続で出場されたスピードスケートの高木菜那さんから実際にオリンピックという舞台に立たれた立場からいろいろとお話を聞きます。

講師  
杉山 正明  
(学習メモ執筆)

壇 蜜 先生

## オリンピックの意義

近代オリンピックはクーベルタンが「青少年の健全育成と世界平和の実現」を理念として1896年に大1回大会を開催し、2021夏季東京大会は第32回目、冬季北京大会は第24回目の開催となります。

ゲストの高木菜那さんからは、選手として3大会連続でオリンピックに出場したときのそれぞれの大会に臨む率直な気持ちや尊敬する選手、選手村での交流などについてお話を聞きます。



大会で獲得したメダルを前に収録での一コマ。右から、高木菜那さん、杉山先生（中央）、壇蜜先生（左）。

## パラリンピックの意義

パラリンピックはイギリスの医師であるグットマンが、脊髄損傷などの障がいを持つ人たちの治療として始めたことから競技大会として発展してきました。

パラリンピックの語源やこの競技大会が目指している意義、パラリンピックの価値とは何かについて考えていきます。

### 〈ゲスト〉

高木菜那（たかぎ・なな）

元スピードスケート選手。北海道中川郡幕別町札内北町出身。2014年ソチオリンピック出場。2018年平昌オリンピックでは、団体追抜とマススタートの2種目で金メダル獲得。2022年北京オリンピックでは団体追抜で銀メダルを獲得。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

## オリンピック・パラリンピックの課題

世界的ビッグイベントとなったオリンピックには、それぞれの政治的な問題や開催にかかる巨額の財政問題、ドーピングなどの課題があります。また、パラリンピックも全ての障がいを持つ人が一堂に会しての開催とはならない現状や選手の練習環境・支援などの課題があります。これらのことを踏まえて、高木菜那さんからこれらの課題はあるもののオリンピックの魅力、そして高校生の皆さんへの応援メッセージをお話していただきます。



### 【参考資料】

#### 1. 古代オリンピック

古代ギリシャのオリンピアで行われていた古代オリンピックはギリシャ神話の主神ゼウスに捧げる祭典競技で、およそ 1200 年計 293 回行われたといわれています。オリンピアの祭典ゼウス神を祭る聖なる祭典であったため、祭典期間の間は都市国家間の争いは休戦期間でした。これを「エケケイリア（聖なる休戦）」と呼び、4 年ごとに開催されました。

#### 2. 五輪のマーク

オリンピック・シンボルとして知られている五輪のマークは、「青、黄、黒、緑、赤の色は地の白を加えると、世界の国旗のほとんどを描くことができるという理由で選んだ」とクーベルタンは書き残しています。さらに、五大陸の団結が表現されていることから、スポーツを通して平和をよりよい世界を目指していこうというオリンピックの理念をあらわし、このオリンピックの理念のことを「オリンピズム」と呼んでいます。このオリンピズムを実現するために行う活動のことを「オリンピックムーブメント」と言います。

#### 3. オリンピックモットー

クーベルタンがオリンピズムを世界に広く伝えるために述べた言葉に「より速く、より高く、より強く」があります。「オリンピックモットー」とも言われるこの言葉には、自分を基準に置いて、これまでの自分よりも前進するように努めること、競技に専心する中で人間性を高めるという意味が込められています。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

### 4. パラリンピックの始まり

パラリンピックは、イギリスのロードウィッチ・グットマンが1948年の第14回ロンドンオリンピック大会の開会式の日、イギリスのロンドン近郊のストーク・マンデビル病院で開催した16名の車いす使用者によるアーチェリー大会です。

グットマンはロンドン郊外のストーク・マンデビル病院国立脊髄損傷センターの所長で、第二次世界大戦で脊髄を損傷した兵士を治療する際にスポーツを取り入れて成果をあげていたのです。グットマンは、「失ったものは数えるな、残されたものを最大限に生かせ」という理念を導入し、若者たちに訴えかけ、生きる勇気と感動を与えたのです。

### 5. パラリンピック競技大会

この大会は毎年開催され、1952年に国際競技会となり、これが第1回国際ストーク・マンデビル大会となりました。そして、1960年にはオリンピック開催地のローマで開催され、その次の1964年の東京大会では車椅子利用者だけでなく、その他の障害のある人たちも参加する大会となりました。

1988年のソウル大会から正式名称として「パラリンピック」となりました。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。